

## 渋川医療センター

## 広報誌



高木渋川市長と病院幹部

### 基本理念

北毛地域の基幹病院として地域の医療機関と連携し、その役割を果たします。

### 基本方針

1. 患者さんの気持ちに寄り添った医療を実践します。
2. 十分な情報を提供し、共に考える医療を行います。
3. がん・呼吸器疾患・重症心身障害児（者）の専門病院として社会に貢献します。
4. 地域医療支援病院として、救急医療を含め地域の医療機関と連携し地域医療に貢献します。
5. 生命の尊さと人権を尊重し、安全な医療を提供します。
6. 教育・研究事業に積極的に取り組み、質の高い医療を常に目指します。
7. 良質な医療を継続的に確保するため、健全な経営と適正な運営に努めます。

### 【目次】

年頭のご挨拶	1
病院災害訓練活動報告『災害拠点病院災害対策本部研修』	2
重症心身障害病棟開設50周年記念式典・重症心身障害病棟開設50周年記念祭典を開催	3
<b>職場紹介</b>	
診療放射線科	5
外来	6
リレー・フォー・ライフ・ジャパン2023ぐんまへ参加しました	7
第26回市民公開セミナーを開催しました	7
<b>シリーズ</b>	
●患者さんにとって耳よりな情報 「マイナンバーカードでの薬剤情報の確認」	8
●外来診療担当医表	9
●セカンドオピニオン担当医表	11
●患者さんの権利	11
●看護の理念、看護の基本方針	11
●編集後記	11



## 年頭のご挨拶

院長 蒔田 富士雄

新年あけましておめでとうございます。昨年中は当院との地域医療連携におきまして多大なるご協力をいただき誠にありがとうございました。

昨年5月8日に新型コロナウイルス感染症が5類へ移行となり感染症法上の位置づけが変わりました。医療提供体制や公費負担の見直しが行われ、従来のインフルエンザと同等に扱われ始めている中で、今後の感染拡大をいかに防止するかでは、有効なワクチン接種を推奨していくことは勿論ですが、重症化しにくくても、超高齢者やがん患者さんなど免疫力が低下している方に対する感染防止への配慮が必要と考えます。今後も病院の感染対策に万全を期して、院内感染予防を徹底し、患者さんが安心して受診できる体制を整えて参りますのでご理解とご協力をお願いいたします。

さて、当院も北毛地域の基幹病院として2016年4月に開院して今年で8年が経過します。今後も地域に必要な医療を安定的かつ継続的に提供するべく、地域医療支援病院、地域がん診療連携拠点病院、災害拠点病院、てんかん支援拠点病院、新型コロナ感染症受け入れ重点医療機関、第二種感染症指定医療機関、紹介受診重点医療機関など、当院の役割を関係方面と連携しながら果して参るとともに、当院の専門医療分野ごとに、多職種の医療チームで構成した診療センター（現在、ニューロモデュレーション、ハンドケア、救急、高精度放射線治療、呼吸器、乳腺・内分泌、リンパ腫・骨髄腫、疼痛、緩和ケア、てんかん、内視鏡外科、糖尿病の12種類）を、各センター長を中心に高度な専門医療の提供を目指して活動して参ります。昨年は、10月にロボット支援手術機器（ダヴィンチ）が、北毛地域で初めて導入されました。前立腺がん、肺がん、直腸・結腸がんなどに使われ、徐々に広めていきます。また、今年1月下旬にはハイケアユニット病床（HCU）4床が設置され、大手術後の術後管理や重症救急患者さんの受け入れなど高度急性期医療の充実が図れるようになります。さらに4月からは、歯科口腔外科が開設され、障害者歯科診療や高度な処置を必要とする2次歯科診療を主に行う予定です。

今後も地域医療に貢献し、当院の役割を果たしていく所存です。

また、当院ホームページを活用しWebでの研修セミナーなど情報提供を行っております。是非一度ご視聴いただき、ご意見、ご要望など頂戴できれば幸いに存じます。

これからも職員一同頑張っ参りますので、本年もどうぞよろしくお願いたします。



# 病院災害訓練活動報告

## 『災害拠点病院災害対策本部研修』

救急診療科・総合診療科医長 高橋 栄治

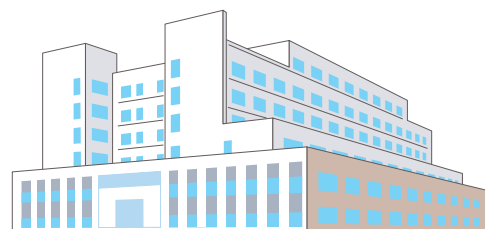
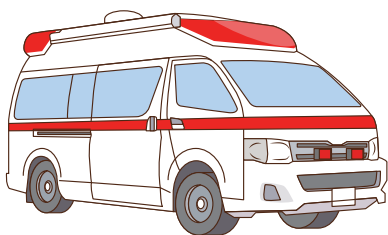
2023年10月27日に令和5年度の病院災害訓練が行われましたので、その活動報告をさせていただきます。

例年は模擬患者や様々な災害想定を用意し、院内外の多くの方にご参加頂く実動訓練という形式で行っていた訓練を、今年は大規模災害時に災害拠点病院の災害対策本部で本部活動を担うスタッフとして、必要な知識と技術を経験(触れて)頂くことを目的に、当院独自に災害対策本部研修を開発し実施しました。ご参加頂いた方は、参加者、見学者、研修スタッフあわせて院内外から総勢70名近い方にご参加頂き、かなり大がかりな研修会となりました。

内容は、「災害の種別」「災害拠点病院の機能・役割」の講義から始まり、「災害対応の基本」「災害拠点病院の活動」を「講義→基礎演習→実践演習」と3段階に分けて行い、知識と技術を段階を踏んで経験していただけるような構成とし、主にグループワーク形式で行いました。

ご参加頂いた方は、皆さん初めての内容ばかりで、四苦八苦している状況でしたが、アンケートの結果ではほぼ全ての方から「参加して良かった」「勉強になった」「また継続して、繰り返し参加したい」と仰って頂き、研修会としては当初の目標を充分達せられたのではないかと考えている次第です。

尚、本研修は、来年度のDMATの関東ブロック訓練が群馬県で行われることもあり、県内の災害拠点病院のスタッフの方にも受けて頂くことで県とも話しが進んでおり、また当院でも継続して行っていく予定でありますので、機会がございましたら是非とも皆様にもご受講頂けたならと思っております。



# 重症心身障害病棟開設50周年記念式典・ 重症心身障害病棟開設50周年記念祭典を開催

療育指導室 療育指導室長 山 嵯 利 紘

令和5年11月8日(水)に重症心身障害病棟開設50周年記念式典を当院にて執り行いました。

当日は、日頃より重症心身障害病棟の運営にご協力をいただいております、連携医療機関、近隣の重症心身障害関連の福祉入所施設、行政関係、教育機関等を来賓としてお招きし、述べ13名の方にご出席いただきました。

式典では、院長挨拶をはじめ、来賓祝辞として、群馬県立渋川特別支援学校校長先生、当院の重症心身障害病棟利用者の

ご家族様を代表し、親・きょうだいの会会長様より、お祝いのお言葉を頂戴しました。また、開設してからの50年を振り返る映像をご覧いただき、長年、摂食嚥下機能療法をご担当いただいております歯科医の先生や以前、当院で勤務されておりました小児科医の先生より、重症心身障害病棟の思い出をお話いただきました。

この50周年を振り返ると、重症心身障害病棟の在り方も大きく変化し、利用者の皆さんの生活も、より個別性を大切にした運営へと変化してまいりました。また、病院の環境も大きく変化し、総合病院の機能を兼ね備えた運営体制となりました。国立病院機構としては、全国に珍しい事業体制となっております。

今後、この半世紀で培った機能を大切に、重症心身障害の皆様の支えとなる存在として、重症心身障害病棟の機能を高めていきたいと存じます。

また、式典に先立ち、令和5年9月14日(木)～15日(金)には、利用者の皆さん、ご家族の皆さんに向けた



重症心身障害病棟開設50周年記念式典の様子

行事として、重症心身障害病棟開設50周年記念祭典を実施しました。

当院は、地域の皆さんとの交流も深く、皆様の支えがあり、この50年を歩むことができました。そのため、この50年を節目に地域との結びつきを改めて深める機会にしたいと考え祭典を企画しました。

そのような趣旨にご賛同いただき、9月14日(木)には、ぐんまちゃんキャラバン隊との交流、9月15日(金)には、前橋市出身の佐藤様が正指揮者を務めますクライネ ハーモニー オーケストラの皆さま



重症心身障害病棟開設50周年記念式典の様子



んの演奏を楽しみました。

利用者の皆さんには、それぞれの特性に応じて、どちらかの企画に参加いただくかを職員と一緒に選択いただきました。ぐんまちゃんキャラバン隊では、ぐんまちゃんと一緒にダンスを踊ったり、記念撮影をしたりしました。「ぐんまちゃん」と大きな声で呼びかける利用者もあり、ふれあいを楽しんでいる様子が見受けられました。また、クライネハーモニー オークストラの皆さんには、クラシックの曲を演奏いただき、日常的には体験できない音色を楽しむことができました。

音の変化を感じ取り、目線や手の動きで気持ちを表現される方やリズムによって身体を動かす方など様々な様子が見られました。イベント終了後には、感染対策に留意いただきながら、ご家族との交流の時間を提供しました。新型コロナウイルス流行以降、ご家族を含めたイベントが実施できておらず、久しぶりの再会に涙ぐむご家族もいらっしゃいました。

今後も、地域の皆様と共に利用者さんやご家族の皆様の生活が充実できますよう、引き続き取り組んでいきたいと思います。



クライネ ハーモニー オークストラの演奏



開設50周年にあわせて作成した共同制作  
(病院の風景画の披露)



ぐんまちゃんキャラバン隊によるダンス  
©群馬県 ぐんまちゃん

## 職場紹介

# 診療放射線科

副診療放射線技師長 西岡 靖晃

診療放射線科は現在18名の診療放射線技師で業務に従事しております。

業務内容としては、大きく分けて画像診断部門と治療部門があり、放射線機器全般の管理を行い患者さまに安心して検査治療を受けて頂ける様に、安全で最適な環境を整えております。

近年、患者さまの被ばくに関して重要性も増しており、今年度からは被ばく管理ソフトを導入して患者さまの被ばく管理も重要な業務となりました。また患者さまだけでなく当職員の放射線従事者の被ばく管理も行っており、被ばく管理については法令改正等により厳しくなっているのが現状です。他にも院内における放射線安全教育や放射線業務従事者のための教育訓練講習など業務も多岐にわたっています。

最近の診療放射線技師のトピックとしては、医師の働き方改革を推進するためタスク・シフティングにより業務拡大が行われ、(造影剤、放射性医薬品を投与するための静脈路確保等) 研修受講や看護部にも協力して頂き院内教育などを行い近い将来病院に貢献できるよう取り組んでいるところです。

また、北毛地区の基幹病院として病診連携の充実を目指し、高額医療機器利用の積極的な開放を行っています。そのニーズは非常に高く、現在、地域医療連携室を通して多くの施設から検査依頼があり今後も増やしていけたらと考えております。

最後に、現在の医療においてチーム医療は必須であり、診療放射線科というと閉鎖的な空間で作業をするイメージがあるかもしれませんが、当科は、他部門間での垣根がない環境での業務を理想としており、科内はもちろん、他部門間のコミュニケーションがとりやすく、情報共有もスムーズに行うことができる職場を目指し今後も地域や患者さまに貢献できる様努めて参ります。





## 職場紹介 外来

外来看護師長 松本 美紀

当院の外来は24の診療科と化学療法室、内視鏡室で構成されています。渋川医療センターの開院から7年目を迎え、外来患者数は年々増加傾向にあり、2022年度の集計では1日の平均外来患者数は約450名、月間ではのべ8,000名を超えています。そのような状況の中、外来に通院する患者さんの訴えで最も多いのが、待ち時間に係る内容です。各診療科の平均待ち時間は概ね1~2時間となっており、多くの患者さんが不快に感じている状態でした。そこで、昨年度より多職種で取り組んでいる、外来待ち時間対策を3つご紹介します。

外来待ち時間対策の取り組みとして、1つ目の取り組みは採血室の待ち時間対策です。採血室では午前の診療に応じて採血患者数も多く、特に8時から10時半までの時間帯が大変混雑し、待ち時間も遅延する状態が続いていました。そこで①外来採血が開始される8時からのスタッフ数増員。②採血室の案内モニターの表示を改善し、採血順番の少し前に採血室に入室して頂くことで事前準備ができるようにする。③診療1時間前の採血を呼びかけ、混雑する時間帯の分散に努める。以上の取り組みを実践することで、混雑は緩和され待ち時間削減に繋がりました。2つ目の取り組みは、中央処置室と眼科ブースの待ち時間対策です。中央処置室と眼科診療ブースには順番表示モニターが無く、患者さんが「いつ呼ばれるのか」「待ち時間をどう過ごせばよいのか」と苦慮していました。そこで番号札を用いた運用を開始し、順番が可視化されたことで、診療時間の見通しと待ち時間を有効的に過ごすことができ、多くの患者さんから好評を頂いております。3つ目の取り組みは、視覚的な待ち時間対策です。外来フロアに季節や行事に関わるポスターを掲示したり、順番表示モニターに、多職種からのお知らせや役立つ情報を定期的に表示することで、待ち時間に対するストレスが少しでも軽減され有効な時間となるよう取り組みました。

このように患者さんからのご意見やご希望を参考に、問題改善できるよう多職種で連携し取り組んでおります。渋川医療センターの外来診療を選んで頂けるようこれからも引き続き努めて参ります。



## リレー・フォー・ライフ・ジャパン2023ぐんまへ参加しました

庶務班長 荻原 剛之

去る令和5年10月7日(土)～8日(日)の2日間にわたりリレー・フォー・ライフ・ジャパン2023ぐんまが開催され、当院からは約40名の有志が参加しました。

リレー・フォー・ライフは、がん患者さんやその家族を支援し、がん征圧を目指すチャリティイベントです。「がん患者は24時間、病気と向き合っている」という想いを共有し、ともに歩き語らうことで生きる勇気と希望を生み出したいとするこのイベントは、現在、世界32か国約4,500か所、日本では48か所で開催されています。

過去4年間は、台風や新型コロナウイルス感染症の影響により、大規模なリレーイベントの休止や縮小開催となりましたが、今年は5年ぶりに夜を超えての開催となり、県内の医療関係者が数多く参加していました。

当日は天候にも恵まれ、昼は晴天の青空の元、夜はルミナリエの幻想的な光の中を参加者が交代で歩ききり、無事にゴールを迎えることができました。

当日ご参加いただいた職員の皆様、また、募金にご賛同いただいた職員の皆様、ご協力ありがとうございました。



会場から望む朝日



夜になり明かりが灯ったルミナリエ

## 第26回市民公開セミナーを開催しました

経営企画室長 林 宏樹

がん診療拠点病院機能強化事業の一環として、令和5年12月2日(土)に第26回市民公開セミナーを開催しました。

コロナ感染拡大防止のため、前年までの3年間はホームページでの動画公開とした本セミナーですが、今年は「渋川医療センターでできるがん診療の最前線」をテーマに、当院外来および大会議室を会場として、第1部「がん相談、健康測定及び健康相談会」、第2部「講演会」の2部構成で開催し、延べ215名の方々にご参加いただきました。

第1部のがん相談コーナーでは、各がん専門医が来場者からの熱心な相談に対応させていただき、健康測定や各専門職種による健康相談にも多くの来場者にご参加いただきました。

第2部の講演会では、田村外科系診療部長による「前立腺がんの診断と治療について」、金井薬剤部長による「前立腺がんの治療薬について」の2つの講演が行われ、講演会の最後には、令和5年10月に導入した内視鏡下手術支援ロボット「Da Vinci Xi (ダビンチ)」を紹介させていただきました。



講演会の様子



体験コーナーの様子





# 患者さんにとって耳よりの情報

## マイナンバーカードでの薬剤情報の確認

薬剤師 須藤 大貴

皆さんはマイナンバーカードの取得はお済みですか。申し込みや届け出を行うことで健康保険証としても利用でき、対応する医療機関や薬局ではマイナンバーカードでの受付も可能となっています。当院でもマイナンバーカードを使用した「マイナ受付」が可能です。また、健康保険証としての利用の届け出を行うことで、「マイナポータル」というアプリから自身が受けた特定検診の情報や、医療機関で処方された薬剤や薬局で調剤された薬剤の情報を閲覧することができます。さらに、マイナンバーカードに対応している医療機関や薬局では、自身の同意のもとでその情報を医師や薬剤師に共有することも可能となります。今回はマイナポータルでの薬剤情報の閲覧方法について紹介したいと思います。

### 図1 マイナポータルで医療保険の薬剤情報を確認・取得する流れ

※マイナンバーカードの保険証利用に対応していない医療機関・薬局で調剤された薬剤情報も取得できます



※2021年9月以降に調剤された薬剤情報が対象（11月以降、毎月11日頃から前月分までの薬剤情報を閲覧可能） PDFをダウンロード可能 図1/デジタル庁Hpより

薬剤情報の確認の流れとしては上の図の通りで、マイナポータルにログイン後、薬剤情報を選択し、期間を指定することでその期間に処方・調剤された薬剤の情報を閲覧することができます。ここではマイナンバーカードに対応していない医療機関や薬局で処方・調剤された薬剤の情報も取得することが可能です。また、明細表示を押すことで用法用量などより詳細な情報を閲覧できるとともに、表示されたQRコードを読み取ることでお薬手帳アプリへの登録も行うことができます。最近ではマイナポータルとお薬手帳アプリを連携することで、マイナポータルで取得した薬剤情報をお薬手帳アプリに登録することも可能になっているようです。

ここまで聞くとマイナンバーカードがあればお薬手帳は要らないのではないかとと思われる方もいらっしゃるかと思います。しかしながら、処方・調剤された薬剤の情報がマイナポータルに反映されるまでに時間がかかることや、マイナンバーカードに対応していない医療機関や薬局もあるため、現状では今まで通り医療機関を受診する際にはお薬手帳を持参するのが良いかと思います。



# 渋川医療センター 外来診療担当医表

(令和6年1月1日現在)

診療科	時間帯	月	火	水	木	金
一般内科	午前				モリ カズヨ 森 一世	
	午前				カワシマ チエコ 川島 智恵子	
循環器内科	午前	ナカノ タカヒデ 中野 考英	マツオ ヤエ 松尾 弥枝(北関) (第1,3,5週) イワサキ トシヤ 岩崎 俊弥(北関) (第2,4週)	ミキ ユウコ 三樹 祐子(心血セ) (第1,3,5週)(予約制) クリハラ ジュン 栗原 淳(心血セ) (第2,4週)		ヤマギシ トシハル 山岸 敏治
	午後				ナカシマ クニキ 中島 邦喜(北関) (第2週) ツボイ エイトシ 坪井 栄俊(北関) (第4週)	
脳神経内科	午後			ヤナギサワ タカユキ 柳澤 孝之 (第1,3,5週13:30~)		
呼吸器内科	午前	オオサキ タカシ 大崎 隆	マスタ トモミ 増田 友美(群大)	クワコ トモヒト 桑子 智人	オオスキ ユウジ 大貫 祐史	クワコ トモヒト 桑子 智人
	午前	ヨシイ アキヒロ 吉井 明弘	ムラタ ケイスケ 村田 圭祐	ツチャ ユキコ 土屋 友規子	サクライ レイコ 櫻井 麗子(群大)	ワタナベ サトル 渡邊 寛
	午前	サイトウ リュウセイ 斎藤 龍生	スナガ ノリアキ 砂長 則明(群大)	サイトウ リュウセイ 斎藤 龍生	オオサキ タカシ 大崎 隆	ヨシイ アキヒロ 吉井 明弘
	午前から 14時迄	オチアイ マイ 落合 麻衣	オチアイ マイ 落合 麻衣	オチアイ マイ 落合 麻衣		オチアイ マイ 落合 麻衣
	午前		イタイ ミキ 板井 美紀(群大)	ヨコタ イタル 横田 暢	ワカマツ イクオ 若松 郁生(群大)	
内分泌・ 代謝内科	午前			ヨシノ サトシ 吉野 聡(群大)	ショウダ ヨシト 正田 純史	シミズ トモヒコ 清水 智彦
	午後	シミズ トモヒコ 清水 智彦	シミズ トモヒコ 清水 智彦	ヤマダ マサノブ 山田 正信(群大) (第1週 14:00~)		ヤマダ マサノブ 山田 正信(群大) (第3週 14:00~)
小児科 (重心のみ・予約制) 小児神経(てんかん)予約制	午後			イノウエ フミタカ 井上 文孝(重心)		
	午後	イダ クニコ 井田 久仁子 (小児神経)				
血液内科	午前			アカシ ナオキ 明石 直樹		
	午前	テラサキ ユキエ 寺崎 幸恵	イリウチシマ ヒロノ 入内島 裕乃	マツモト モリオ 松本 守生	マツモト モリオ 松本 守生	ミハラ マサヒロ 三原 正大
	午後 (予約)		オガワ ヨシユキ 小川 孔幸 (第3週)			
	午前	サイトウ アキオ 斎藤 明生	ミハラ マサヒロ 三原 正大	イリウチシマ ヒロノ 入内島 裕乃	イソダ アツシ 磯田 淳	サイトウ アキオ 斎藤 明生
	午前	イリウチシマ ヒロノ 入内島 裕乃		テラサキ ユキエ 寺崎 幸恵	イリウチシマ ヒロノ 入内島 裕乃	オオサキ ヨウヘイ 大崎 洋平(群大)
午後		サワムラ モリオ 澤村 守夫				
消化器内科	午前	ナカジマ ヨシミ 中島 良実	サトウ ヒロコ 佐藤 洋子	ヤマザキ ユウイチ 山崎 勇一(群大)	ムラカミ タツマ 村上 正真(群大)	フルヤ ケンスケ 古谷 健介
	午前	キムラ ユウコウ 木村 有宏	スガ タカヨシ 須賀 孝慶	ヒロカワ トモユキ 廣川 朋之	ナガシマ タモン 長島 多間	スズキ ヒデユキ 鈴木 秀行(原町日赤) (第2,4週)
緩和ケア科 (予約制)	午後	コバヤシ ゴウ 小林 剛		コバヤシ ゴウ 小林 剛	コバヤシ ゴウ 小林 剛	コバヤシ ゴウ 小林 剛
精神腫瘍科 (予約制)	午後	マジマ タケヒコ 間島 竹彦	マジマ タケヒコ 間島 竹彦		マジマ タケヒコ 間島 竹彦	
放射線治療科 (予約制)	午前	マツウラ マサナ/カミヌマ タクヤ 松浦 正名/神沼 拓也	カミヌマ タクヤ/ナカムラ ユウジ 神沼 拓也/中村 勇司	カミヌマ タクヤ/クワコ ケイコ 神沼 拓也/桑子 慧子	カミヌマ タクヤ/クワコ ケイコ 神沼 拓也/桑子 慧子	カミヌマ タクヤ/クワコ ケイコ 神沼 拓也/桑子 慧子
	午後	クワコ ケイコ 桑子 慧子	マツウラ マサナ/クワコ ケイコ 松浦 正名/桑子 慧子	ナカムラ ユウジ/マツモト エイミ 中村 勇司/松本 瑛美	マツウラ マサナ 松浦 正名	マツウラ マサナ 松浦 正名
	午前	ナカムラ ユウジ 中村 勇司				
麻酔科	午前		ウチハシ ヨシタカ 内橋 慶隆			ウチハシ ヨシタカ 内橋 慶隆
	午後			セキモト ケンイチ 関本 研一 (ペインクリニック外来)		

外来受付時間 8時30分～11時00分 注) 担当医変更の場合もございますので、予めご了承ください。

※眼科の月曜日診察は紹介状をお持ちの方とご予約されている方のみ受診できます。

※整形外科は初再診にかかわらず、原則完全予約制です。

※第1・3・5水曜の循環器内科は完全予約制です。

※第1・3・5金曜の消化器内科は完全予約制です。

※原則、午後は予約診察のみとなりますが、★印の診察については受付時間は15:00までとなります。

※(予約)と記載がある場合は、予約患者さんごみの診察となります。

※再診予約の方については16:00まで再来受付機での受付が可能です。

※やむを得ない事情により突然の休診や診療医師変更もございます。ご了承ください。

◎予約変更について 受付時間: 平日13~17時 TEL.0279-26-3010 (予約専用)

TEL.0279-23-1010 (代表)



診療科	時間帯	月	火	水	木	金
消化器外科	午前	マキタ フジオ 蒔田 富士雄	ヨシナリ ダイスケ 吉成 大介	タナハシ ヨシフミ 棚橋 美文	マキタ フジオ 蒔田 富士雄	タナハシ ヨシフミ 棚橋 美文
	午後		マキ シゲオ 真木 茂雄	スケガワ シンサク ★助川 晋作 (肛門科・消化器外科) (第1, 3, 5週13:30~)	術前外来	
	午前		ヌマガ ユキ 沼賀 有紀		タカハシ ケンゴ 高橋 研吾	
	午後				術前外来	
呼吸器外科	午前	ヤマキ エイ 八巻 英		カワシマ オサム 川島 修		カワシマ オサム 川島 修
	午前			オノザト リョウイチ 小野里 良一		ヤマキ エイ/オノザト リョウイチ 八巻 英/小野里 良一
脳神経外科	午後					イタバシ ユウタロウ 板橋 悠太郎
	午後			ヒラト マサブミ 平戸 政史 (予約)		シマウチ ヒロヤ 島内 寛也(群大) (14:00~)
	午前	ゴウダ ツカサ 合田 司	タカハシ アキオ 高橋 章夫(予約制)	ゴウダ ツカサ 合田 司	タカハシ アキオ 高橋 章夫	ゴウダ ツカサ 合田 司
	午後			ミヤギシマ タカアキ 宮城島 孝昭(群大)		イベ ヨウコ 伊部 洋子(群大)
	午前		ヒラト マサブミ 平戸 政史		ヒラト マサブミ 平戸 政史	
	午後(予約)				ヒラト マサブミ 平戸 政史	
ニューロ モデュレーション外来	午後			★ニューロモデュレーション外来 14:00~		
整形外科 (予約制)	午前	ワリタ トシロウ 割田 敏朗	カヤカベ マサトモ 加家壁 正知		カナザワ サエコ 金澤 紗恵子	
	午後			オカムラ コウイチ 岡邨 興一(群大) (第1, 3, 5週)		ヨネモト ユキオ 米本 由木夫 (リウマチ専門外来) (第2, 4, 5週)
	午前	カヤカベ マサトモ 加家壁 正知	カナザワ サエコ 金澤 紗恵子	イツカ ヨウイチ 飯塚 陽一	カヤカベ マサトモ 加家壁 正知	ワリタ トシロウ 割田 敏朗 (第1, 2, 3, 5週)
	午後	カヤカベ マサトモ 加家壁 正知		イツカ ヨウイチ 飯塚 陽一	カヤカベ マサトモ 加家壁 正知	
泌尿器科	午前	タムラ ヨシミ 田村 芳美	タムラ ヨシミ 田村 芳美	ネノイ ツバサ 根井 翼	タムラ ヨシミ 田村 芳美	ネノイ ツバサ 根井 翼
	午後(予約)	タムラ ヨシミ 田村 芳美	ネノイ ツバサ 根井 翼		タムラ ヨシミ 田村 芳美	ネノイ ツバサ 根井 翼
	午前	シミズ タカノリ/イシオ ノリコ 清水 孝倫/石尾 典子	ネノイ ツバサ 根井 翼	タムラ ヨシミ 田村 芳美	シミズ タカノリ 清水 孝倫	シミズ タカノリ 清水 孝倫
	午後(予約)	シミズ タカノリ 清水 孝倫			シミズ タカノリ 清水 孝倫	タムラ ヨシミ/シハラ タカズ 田村 芳美/吉原 忠寿
	午前 11時迄				ネノイ ツバサ 根井 翼	
耳鼻咽喉科	午前			オカモト アヤコ 岡本 彩子		オカモト アヤコ 岡本 彩子
皮膚科	午前	タカハシ アユミ 高橋 亜由美	タカハシ アユミ 高橋 亜由美	タカハシ アユミ 高橋 亜由美	タカハシ アユミ 高橋 亜由美	ナカノ シュン 中野 瞬
	午後(予約)	ナカノ シュン 中野 瞬	タカハシ アユミ 高橋 亜由美	タカハシ アユミ 高橋 亜由美	タカハシ アユミ 高橋 亜由美	ナカノ シュン 中野 瞬
	午前	ナカノ シュン 中野 瞬	アサトリ アヤコ 朝鳥 彩子(群大) (第1, 3, 5週)	ナカノ シュン 中野 瞬	ナカノ シュン 中野 瞬	
甲状腺科	午前	ヨコタ トオル 横田 徹	ヨコエ タカオ 横江 隆夫	ヨコタ トオル 横田 徹		ヨコエ タカオ 横江 隆夫
	午後(予約)			ヨコタ トオル 横田 徹		
乳腺科	午前	サトウ アヤコ 佐藤 亜矢子	ヨコタ トオル 横田 徹	サトウ アヤコ 佐藤 亜矢子		ヨコタ トオル 横田 徹
	午後(予約)		ヨコタ トオル 横田 徹			ヨコタ トオル 横田 徹
乳腺・甲状腺科	午前		サトウ アヤコ 佐藤 亜矢子	ヨコエ タカオ 横江 隆夫		
眼科	午前					
	午後(予約)		グンダイシ 群大医師	グンダイシ 群大医師		
	午前	シノハラ ヨウイチロウ 篠原 洋一郎(群大)				

## セカンドオピニオン担当医表 (令和6年1月1日現在)

科 別	予約時間	月	火	水	木	金
呼吸器内科 (肺腫瘍)	午後3時30分～	吉井 明弘	—	吉井 明弘	—	—
呼吸器外科	午前中	川島 修	—	—	—	—
血液内科	午後2時～	松本 守生	—	—	—	—
乳腺・甲状腺外科	午後2時30分～	—	—	横田 徹	—	—
消化器外科	午後	蒔田 富士雄	—	—	—	—
放射線科	午後3時～	—	中村 勇司	松浦 正名	—	—
緩和ケア科	午後	小林 剛	—	—	—	小林 剛
皮膚科	午後3時～	高橋 亜由美	—	—	—	—
泌尿器科	午後3時30分～	—	—	—	—	田村 芳美
脳神経外科	午後	—	—	宮城島 孝昭	—	—

※対象者：原則として患者さん本人、患者さんの同意を得た家族 費用：30分毎に5,500円

※お問い合わせ先：TEL0279-23-0626 地域医療連携室(直通)

### 患者さんの権利

1. 最善の医療サービスを受ける権利
2. 人格・人権を尊重される権利
3. 知る権利
4. 自己決定権
5. プライバシーを保護される権利

### がん相談支援センター

- がんに関するご相談は「がん相談支援センター」でお受けします。  
担当：ソーシャルワーカー  
電話：0279-23-1010(代)  
(受付時間は平日8:30～17:15です)
- メールによるご相談は、下記にて終日受け付けておりますが、回答は若干の日数を要する場合がございます。  
E-mail：207-ShibukawaMC\_mbx@mail.hosp.go.jp

## 看護の理念 患者さんの立場に立ち、心あたたかく、信頼に応える看護を提供します

### 看護の基本方針

1. 患者さんの尊厳と権利を尊重し、共に考える看護を実践します
2. 患者さんの気持ちに寄り添い、思いやりとまごころを込めた看護を実践します
3. 根拠に基づいた、安全で安楽な質の高い看護を実践します
4. 地域の人々と連携を図り、患者さんの生活の質の維持・向上に努めます

### 編集後記

新年あけましておめでとうございます。皆様お正月は如何お過ごしでしたか？

昨年の上半期は新型コロナウイルス感染症の対応で、下半期はインフルエンザの予防対策で大忙しの年ではなかったでしょうか？当院は今年も緊張感を持ち、気を引き締め患者さんの安心安全を守って対応して行きたいと思っております。本年も宜しくお願いいたします。

(K.T)



独立行政法人国立病院機構 **渋川医療センター**

〒377-0280 群馬県渋川市白井383番地 電話 0279-23-1010(代) FAX 0279-23-1011

【ホームページ】<https://shibukawa.hosp.go.jp>